

1. 件名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（172）」

2. 日時：平成29年6月8日 14時00分～14時15分

3. 場所：原子力規制庁 13階会議室C

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

皆川安全審査官、竹内技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 副室長 （他5名）

5. 要旨

（1）東海第二発電所の重大事故等対策の有効性評価（格納容器破損防止対策）のうち、熔融炉心・コンクリート相互作用（MCCI）及び原子炉圧力容器外の熔融燃料-冷却材相互作用（FCI）の対策について、原子力規制庁から、6月2日に提出された資料に関して、主に以下の点について指摘を行った。

- これまでのヒアリングでの指摘も踏まえて、実機では発生の可能性が低いものの、万一、大規模な水蒸気爆発が発生した場合も含めたコンクリートのひび割れ評価について、評価基準の設定の考え方も含めて対策への影響の観点から整理した資料を提示すること。

（2）日本原子力発電から、本日の指摘について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし